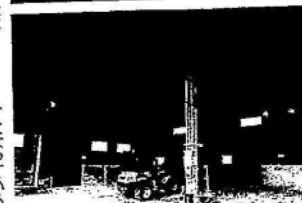
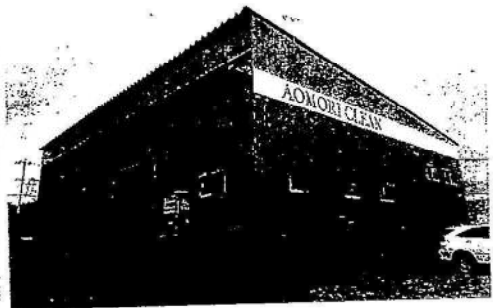


完成した積み替え保管施設の外觀(上)。総保管容量は24・7トンとなっている



浪岡(青森市)に積み替え保管施設

青森クリーン津軽地域等の扱い増狙う

青森県ついで、産業廃棄物の管理最終処分場は、青森市浪岡に産業廃棄物の積み替え保管施設を建設。先月20日から搬入を開始した。これまで距離的な問題などで取り扱いきれなかった津軽地域などの産業廃棄物の拡大を図っている。

「浪岡(青森市)に積み替え保管施設」は、青森県ついで、産業廃棄物の管理最終処分場は、青森市浪岡に産業廃棄物の積み替え保管施設を建設。先月20日から搬入を開始した。これまで距離的な問題などで取り扱いきれなかった津軽地域などの産業廃棄物の拡大を図っている。

同社は2007年3月から管理最終処分場の供用を開始。以来青森県内で産業廃棄物処理事業を展開している。順調に廃棄物の受け入れ量を伸ばしているものの、青森県でも北端にあるため、同様に産廃を搬入する先は距離的な問題で地域が限定される傾向があることが課題となっていた。一方、津軽地域には最終処分場が少なく、今後処分先が十分確保できない可能性もあることが懸念されていた。

こうした状況から同社は津軽地域に比較的近い浪岡に積み替え保管施設を建設する方針を、先月10日に青森市から産業廃棄物搬入の許可(積み替え保管あり)を取得。同20日から施設への産業廃棄物搬入を開始した。施設の総保管容量は24・7トン。内訳は燃やせる36・15トン、がれき類45・64トン、

同施設ができたことで、小規模事業者から排出されたものや、遠方から運搬されたものを同施設で適正保管し、一定の運搬量に達した時点で処分場に搬入することが可能になった。また、産廃内で保管するため、雪の多い季節にも対応が可能だ。同社の担当者は、「津軽地方の事業者から、むつ市まで運ぶのは大変なので中継する施設を作ってほしい」という要望が以前からあった。こうした顧客のニーズに対応し、取り扱いきれなかったものを「受け入れ」と話す。